

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

※無断転載禁止

レジメン番号： BRST-124

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
乳がん (HER2陽性)	PER + HER + DTX75	21日間	【術前/術後】 4コース (+α) 【進行再発】 6コース+α	■ 進行/再発 ■ 術後補助化学療法 ■ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	軽度	N Engl J Med 366: 109-19, 2012

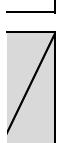
	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	パージェタ 生理食塩液	840mg 250mL	点滴静注	初回のみ 60分	↓																				
	パージェタ 生理食塩液	420mg 250mL		2回目～ 30分																					
②	トラスツズマブ 生理食塩液	8mg/kg 250mL	点滴静注	初回のみ 90分	↓																				
	トラスツズマブ 生理食塩液	6mg/kg 100mL		2回目～ 30分																					
③	デキサート 生理食塩液	6.6mg 50mL	点滴静注	5分	↓																				
④	ドセタキセル 生理食塩液	75mg/m ² 250mL	点滴静注	60分	↓																				
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				

<注意事項/備考>

- ✓ 【投与期間】（術前）4コース、（術後）4コース施行後、PER+HERを計1年間、（進行再発）6コース施行後、PER+HERを病勢進行まで継続可
- ✓ PER：初回のみ840mgを60分かけて投与、2回目以降は420mgを30分かけて投与
- ✓ HER：初回8mg/kgを90分かけて投与、2回目以降は6mg/kgを30分かけて投与
- ✓ 浮腫(DTX)：総投与量350-400mg/m²以上で頻度上昇。足のむくみなどの症状に注意、予防のためのDEX内服も検討
- ✓ 心障害：投与中は心エコー等を用いて心機能評価を

✓ インフュージョンリアクション：悪寒、発熱、呼吸困難など。状況に応じて抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛薬などの投与を検討

:»



_